

瑞

雲

明日を拓く
直方鉄工青年会

第 58 号
平成 5 年 1 月 20 日

一年を振り返って

第28代会長 坂田 幸一



新しい年平成5年を迎えまして、皆様の御多幸と、益々の御繁栄をお祈りいたします。

昨年はバブル経済崩壊に始まり、共和汚職事件、佐川急便事件と政治スキャンダルが社会問題となる中、景気は低迷を続け複合不況という新型の不況下での一年でした。そのような経済環境のもと、『団結と前進の直方鉄工青年会』をスローガンに掲げ「研修・親睦・会員拡大」を基本方針として出発した平成4年度も余すところあとわずかとなりました。そこでこれまでの青年会活動を振り返ってみますと、緊張して臨んだ最初の事業としての4月の総会、各試合打撃戦となり閉会式が大幅に遅れた5月の企業対抗ソフトボール大会、8月夕涼みを兼ねた家族同伴バーベキュー大会並びにまつりくらじへの参加、つづいて9月の沖縄研修旅行ではスキューバダイビングを初めて体験するなど、どの事業も各委員会並びに役員の皆様の熱心な活動により盛会に終える事ができました。

経営委員会では年間7回（うちシリーズで6回）というかってない経営セミナーを開

催していただきました。

組織的には「これからの会長選出方法」というテーマで役員会をはじめ各委員会に於ても討議を重ねていただき、11月の臨時総会にてこれまでの会長選考委員会が新しく生まれ変わりました。

もうすぐこの新しい選考委員会により第29代会長が誕生する事と思います。

私の時以上に会員諸氏の御協力をお願いします。

又会員拡大につきましては皆様の努力のおかげで本年度は4名の新入会員の入会をみまして現在会員数は53名です。今後も30周年へ向けて益々の会員拡大に努力していただきたいと思います。

任期中には青年会での活動は申すまでもなく対外的には直方市鉄工振興推進協議会を始め、直方市産業育成ビジョン検討委員会ワーキング部会、活路開拓ビジョン調査事業委員会に参加させていただき3回の先進地視察に恵まれました事も私自信の自己啓発に大いに役立った事と深く感謝し御礼申し上げます。

このように前進的な充実した事業活動が出来ましたことは、会員の皆様をはじめ関係各位、諸団体の御支援、御協力のおかげと心より感謝いたしております。

最後に、昨年7月急逝されました故小出恵二郎君の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

スローガン
「団結と前進の直方鉄工青年会」

新年に当って

直方鉄工組合
副理事長 石松 徹也



新年明けましておめでとうございませう。長引く不況下皆さんそれぞれに、新しい抱負を胸に秘め新年をお迎えのことと思ひます。

早いもので内藤理事長が理事長に就任されて一期を終ろうとしています。理事長の業務がいかに大変なものか、歴代の理事長の方々のご苦勞を、傍から見てつくづく痛感した2年間でした。内藤理事長は多くの役職を持たれて地域社会の指導者として、活躍されているのは皆さまもご存知の通りです。鉄工組合理事長として、社業を犠牲にして割られる時間は相当なものです。その時間は我々組合員の為、直方の鉄工界の為の貴重な時間と言えるでしょう。

私は直方鉄工組合は私の傘の役目をしてきていると思ひています。天気の良い時は忘れていても、雨が降れば重宝し、傘を忘れて雨に濡れるとありがたさに気づくようなものだと考えています。内藤理事長は組合員の方々に直接役立つ事業を、新しい委員会を設置してでも積極的にやろうと方向付けされていますので、皆さんの積極的な提言が実のあるものに向って行くと確信しています。

1年前の瑞雲56号で理事長は青年会と組合とは『一心同体』と言われている。青年会で組合との関係について色々意見があると聞かれていますので、お互い意志の疎通をはかる必要があると思ひます。しかし傘を持っているのは青年会の皆さんですから、雨が右から降れば右へ、左から降れば左へ方向を変えて下さい。番傘がきれいなら洋傘へ、破れたら修繕も出来るでしょう。(会員の皆さんは修繕屋さんの声を聞いた事のない世代ですかネ?)『21世紀に向けて』と言えは近未来を意味していましたが、今では目の前に来た21世紀は青年会の皆さんが傘になる時代ですか

ら、電車の内に傘を忘れないで下さい。

本誌の発行される新春例会の頃になると、次年度の人事話がチラホラする時期ですが、坂田会長の事業を成功させて新しい平成5年度にりっぱにバトンタッチされる事を願って終りとします。

新年のご挨拶

直方市役所
商工課長 井上 勝治



新年あけましておめでとうございませう。

昨年4月に商工課長に着任いたしました。今後ともご支援いただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

上げます。

ご承知のごとく、バブル崩壊後の日本経済は、大変厳しいものがあります。しかし、この厳しい景況も底をつき、上向きに転ずるとの予測もでており、本年は明るい年になることを皆様方とともに期待いたしております。

さて、本市におきましては、西暦2000年までを計画期間とする第3次直方市総合計画(マスタープラン)がスタートして、本年が3年目となります。この総合計画は「自立、はつらつヒューマン都市」を基調テーマに21世紀の直方市のあるべき姿を5つの都市像で描いております。

それは、「自立し、心ふれあう市民の都市」、「山と川を生かしたやすらぎのある生活都市」、「豊かな感性が生きつく文化都市」、「福・北両都市圏の接点に立つ交流都市」そして「新たな時代に対応する産業都市」であります。現在、この5つの都市像の実現を目指して諸施策を展開しているのが本市の状況であります。

そこで、皆様方に一番関係の深い「新たな時代に対応する産業都市」とはどの様な都市像なのか、また、現在取り組んでいる事業は何かについてご紹介いたしておきたいと思ひます。

わが国の経済が21世紀に向けて、どの様に変化していくのか、その潮流について見てみますときに、経済のボーダレス化やソフト化、サービス化といわれる変化や、情報化、技術の一層の高度化等が進展すると予測されています。

このような経済環境の変化を展望し、本市がこの変化に対応すべき産業の核となる拠点づくりとして、実学機能が集積する都市づくり、いわゆる厳しい変化に 대응できる人材を輩出する「実学機能都市」づくりを目指す。これが、この都市像の基本的な考え方になっています。

現在直方市には、中小企業大学校やコンピュータ・カレッジなどがありますが、これらとの連携を図りながら情報関連産業などの誘致やソフトパーク構想を推進し、実学のメッカとしての産業支援基盤の整備を行っていくことにしているのです。

そのため、産業界の情報化の推進といった観点から、昨年ニューメディア・コミュニティ構想を推進するための組織化などを行ない、本年には企業情報PRシステムやパソコン通信システムの本格的運用実験に取り組んでいくことに致しておりますとともに、将来的には「情報センター」の設置を目指しております。

また、現在進めておりますのは、地域内に集積の著しい機械金属関連産業を中心として技術革新などの環境変化に対応して発展するための方策、さらにはマスタープランに掲げるソフトパーク構想の実現化など、21世紀へ向けての、直方市における産業発展の具体的な方向性を探るためのビジョンを策定しているところであります。

私ども商工課職員一同は、本年がこれらの計画を具体化するための行動の初年度と位置付けております。「新たな時代に対応する産業都市」づくりを目指し、一致結束して邁進いたす決意であります。

どうぞ、ご支援、御協力をお願い申し上げ新年のあいさつと致します。

自 助 努 力

直方古町商店街振興組合
青年部理事 宮田 博樹



新年おめでとうございます。

年の始めから景気が悪い話ですが、昨年、特に後半は百貨店、スーパーはもとより我々中小の

地元商店街の店も売り上げ減少に苦しみました。しかし固店別ではDM企画等を積極的に行い、成績が伸びている店も幾家か見うけられます。努力する店とそうでない店の差がいちじるしくついているのは一重に「自助努力する覚悟をしたかどうか。」ではないでしょうか？ 勿論、当組合も春や秋の売り出し、土曜夜市、初売り等のソフト面、商店街会館駐車場、北駐車場、スカイパーク駐車場に続いての今春四月オープン予定の津田町新駐車場（第2スカイパーク）等のハード面で大いに加盟店をバックアップして参りますが、基本は、それに甘える事なく「自助努力」にあると思います。

他方、古町以外でも直方の商圈客確保、固定客作りを旨とした直方ホップスタンプ事業（直方ホップスタンプ協同組合）も幾多の困難を乗り越え、売り上げも大幅に伸び同業種では全国第4位となりました。主に主婦層の高い支持を得、本年度はさらにカード化による利用客の利便向上を旨とし日夜全力を尽しています。又、直方市商店連合会は商工会議所とタイアップして新しい試みの「直方ウォークラリー」を昨秋開催し、親子等延べ約3千名の参加者を得ました。これはお客様が地元の4商店街の6ヶ所のチェックポイントを巡りスタンプ台紙にすべてのスタンプを押すと景品を進呈する企画でしたが、地元で親しんで頂き、又、多くの反響を得まして感激致しました。

五日市の様な良き伝統を受け継ぎ、かつ、新しい企画にチャレンジして慢心する事なく直方の商店街の活性化、生き残りに全力を尽して参りたく存じています。

最後に、貴青年部の皆様の御指導、御鞭撻を本年も承りますようお願い申し上げます、新年の御あいさつとさせていただきます。

平成5年 元旦

卒業に際して

卒業

元重 一彦



私が、伝統ある、直方鉄工青年会に入会したのは、昭和54年第15代内藤博俊会長の時、以来早いもので、今年で13年を迎えとうとう、卒業となりました。例会に出席しても、新人の私などは席の後の方で常に緊張して、一言も発言出来ず小さくなっていると、先輩から「自分の仕事に役立様に視野広くしていろいろな事を吸収して勉強する様に」と言われた事を思い出します。それから13年間多くのすばらしい諸先輩に出逢い又すばらしい現会員の皆さんといろいろな青年会事業や他団体活動に参加出来た事は私にとって良い勉強をさせてもらいました。

この青年会在籍中、私の人生にとって今までに経験したこともない大きな変動の時でした。それは元気だった私の父の病気、入院、そして、死でした。それから昭和62年ごろから始まった円高、構造不況に新興工業国の進出による今までにない大不景気も無事に乗り越えられたのも鉄工青年会との出逢いがあったからだと思います。

最後に直方鉄工青年会の今後益々の御発展と会員諸氏の御健康をお祈り申し上げます。長い間本当に御世話になりました。

今年を思う

細田 章



新しき年を迎え、今年は景気回復の年になってくれればと切に希望する次第ですが、我々中小企業を取り巻く状況は厳しく、人手不足の中での労働時間短縮など、様々な問題を抱えております。

この様な時期こそ、経営者の手腕が問われる年と思われ、生き残りではなく、勝ち残ることを目指し、皆様頑張っておられることと思います。

さて今年は、私にとりまして、鉄工青年会最後の年となります。昭和49年「ニチイ」を退職し、当地に帰ってきたとたん、不景気風に見舞われて、一時は転職を誤ったかとさえ感じました。翌年岩野先輩の紹介で青年会に入会させていただいて早や18年、後3ヶ月足らずで卒業となります。今まで、遠い先の事だと思いつつ、先輩諸氏の卒業にあたっての記事を拝読していたのに、もう自分の番が回ってきたのかと、月日の過ぎゆく速さに驚いています。

顧みますと、まず思い出されるのが、昭和53年、山本忠志会長より、青年会のこともよくわからないうちに広報委員長を仰せつかり、青年会活動に参加した時のことです。予算を一番先に「いだけ取りなさい。」と言われ、総予算168万6千円のうち、35万円希望し、何とそれが通りました。今の予算取りを考えるととても恵まれておりました。その予算も最後に3万5千円も残り、消化するために急きょカメラを買って帳尻を合わせました。本当に気持の広い先輩ばかりで、好きにやらせてもらえ、青年会の楽しさを知ることが出来ました。

そして、もう一つ印象深いのは、第27代会長を務めさせていただいた時のことです。自分自身、精神的な面を鍛える事が出来、また多くの事業があったにも関わらず、会員の皆さんの絶大なる協力のお陰で、目的達成の喜びを味わう事が出来たことです。心より感謝しております。

卒業するに際し、良き先輩、そして年は若くとも見習うべき多くの物を持っている会員の皆さんと出会ったことが、今の私の財産の一部になっております。今後、皆様も1人でも多くの、本当に信頼できる人達を見つけ、青年会をその人達との交流の場としていただきたいと思います。

青年会もあと2年で30才という壮年の時期になります。全会員が一致団結して青年会を盛り上げていただきたいと思う次第です。

思 い 出

須藤 心一



早いもので、高野浦会長の時鉄工青年会に入会させていただき十数年余りになります。卒業となるとすごく寂しい気持ちになります。まだまだ若いと思っていましたが、新入会員の年齢が、昭和48年生まれの20才で私の子供と同じ位の年ではありませんか。45才の卒業は早すぎる。あと数年はしい様な……。

また、素晴らしい先輩と元気で陽気な後輩に巡り合い、いろいろな事を学び考えさせられました。青年会で得た事を今後の私の大きな力として頑張ります。今後ともお付き合いの程よろしく。

近年バブルの崩壊で、オイルショック、円高不況を上回る不況でありました。この様な時こそ青年会会員同士で情報交換し、この不況を乗り切って頑張ってください。

社長に青年会への入会を勧められ感謝しています。世間知らずの私にとりまして、青年会での経営セミナー、青年会活動、他団体との交流などは、大変良き経験になりました。

なつかしい思い出には研修旅行があります。入会して間もないころの旅行でした。アマダ行は初めてで最後の旅行となりそうです。もう一つは青年会会員と家族で、広島の方へスキーに行った事です。私は子供のころから一度は行ってみたいと思っていましたが、これまで行く機会がありませんでした。しかし、今回初めてのスキーで十分に楽しさを実感できました。楽しい一時を過ごさせていただきました。良き思い出となりました。飯野君、ありがとう。

私は青年会の役には何も立てませんでした。私なりに頑張ったつもりです。3月の夫婦同僚例会を楽しみにしています。広報委員会と会員の皆様よろしくお祈りします。

最後になりましたが、皆様お世話になりました。皆様方の今後の御発展と御健勝を祈ります。

20年間を振り返って

高瀬 武法



25才で青年会に入会しあつという間に20年間が過ぎました。卒業に際して一筆書くにあたりこの20年間の思い出が、ぼんやりと蘇ってきます。

25～33才の頃、無趣味だったので、青年会への出席率は良好でした。新年会、忘年会、旅行、汐干狩りなどの楽しい思い出があります。皆さんとも仲良くして頂きました。

所が、海釣りや無線交信の趣味を持つ様になってから、時間と体力の余裕を失っていききました。

毎週金曜日の夢枕に魚拓になる様なステキな魚が出てきて私を誘惑するのです。

この夢を見ると落ち着きが無くなり、早速土曜夜8時出発、日曜夜10時すぎ帰宅月曜朝出社という生活が36才頃迄続きました。

しかし36才をすぎると疲れる様になり、楽な舟釣りに切換えようと四級ボート免許証を取得して、近くの海でボート釣りをする様になりました。

このボートのエンジンが故障して、強風と白波にもまれながら沖へ沖へと流されて、死を覚悟した事もあります。陸地が遠くなり、舟に入ってくる海水をバケツで吸み出し続け精魂つきはて、やがて諦めてゆきます。ああ！なんという死にざまでしょうか！せめて、魚のえさにならぬ様に死体だけでも帰宅したいと切実に思いながら両手を合わせる心境になっていた時、幸いにも海水浴シーズンで見張りの人が気付いて、救助されましたが、みっともない話です。

それでも懲りずに、今度は、無線免許を取得、これで安全なボート釣りができる様になりました。

ボート釣りしながら自宅の家族や北九州一帯の若い男女や老夫婦などの暇人さん達と交信できるのでから本当に愉快です。無線で親しくなって、家迄無線で誘導してもらい、その家で釣ったばかりの活魚を食べた事もし

ばしばでした。

こうなると無線仲間との付き合いで、さらに忙がしくなるのです。こんな状態で、青年会を忘れてしまったのです。再三先輩諸兄の方々から「出席しろよ」と言われても、釣りと無線と仕事だけに没頭する38才の悪ガキになっていたのです。この頃が一番楽しい頃でした。

所が、私が40才になった時、息子が小学4年生になっていました。冷やかに受験した有名進学塾の評価は、期待できる評価でした。本人がぜひこの塾に行きたいと申すので、やむを得ず、私が趣味で使う金と時間を息子に与える事にしました。

40～43才頃迄、私と息子の二人三脚が続いたのです。息子を目標の中学に入学させて、

ほっとする間もなく自宅を新築し終えたら、45才になっていました。最近の私は、仕事だけで疲れる様になっています。本当にあっと言う間の20年でした。

こんな20年を過ごした私から後輩の方への言葉

- ①仕事と家庭と青年会中心の生活を維持して、他の事に多くのエネルギーを使わぬ事。
 - ②会社の営業、現場管理、そして、戸閉まり迄してくれる代りの人を確保する事
- 以上を心掛けて、スリーピング・メンバーにならずに、良い友達を得てください。きっと役立つでしょう。

最後になりましたが、青年会の発展、飛躍を心より願っております。長い間お世話になり有難うございました。

新入会員の紹介

暁鉄工㈱ 矢野清一郎



今般、飯野鉄工所、飯野泰造様のご紹介により直方鉄工青年会に入会させて頂く事となりました。

弊職についてから約2年弱、それ以前は6年間ほど直方を離れていたこともあり、仕事上のおつきあいの他、地元の方々と交流の場を持つ機会のない自分自身にとって、地元同業者の方々と交流を深め、同じような問題や悩みを抱えた同年代の方々とのお話を通じ、自分自身の研鑽には最適の場と考え入会を希望させて頂いた次第で有ります。私自身、知識を深める目的で各種セミナー等に出席しておりますが、何か弊社の事情とはそぐわない総論的なものに終始し、いつも物足りないものを感じておりましたが、今後は青年会においての諸先輩との会話を通じて実際に即したものをつかみとり、弊社の発展ひいては直方鉄工会の繁栄に微力ながら努力する所存であります。

すので、諸先輩の方々ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

クボタ鉄工㈱ 窪田 輝久



この度、吉田裕司様のご紹介により、直方鉄工青年会に入会させて頂くようになりました。私は大学を卒業後MCメーカーの大阪機工株式会社へ、

出向という形で2年間実習させて頂きました。実習とはいえ、はっきりカリキュラムが組まれているわけではなく自分の会社に関係のある現場を選び勉強するものでした。現在はマシニングセンターのオペレーター及び加工を行っております。まだまだ加工技術及び人生経験において未熟でありますので、歴史ある直方鉄工青年会に入会させて頂き今後は、諸先輩方に御指導を賜ります様よろしくお願い致します。